

早めの

みんなの合言葉

# ライトと反射材



子供と高齢者の  
安全な通行の確保と  
高齢運転者の交通事故防止

夕暮れ時と夜間の歩行中・  
自転車乗用中の交通事故防止

全ての座席のシートベルトと  
チャイルドシートの  
正しい着用の徹底

飲酒運転の根絶

## 秋の全国交通安全運動

平成30年9月21日(金)～9月30日(日)

9月30日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です



チャイルドシート着用  
推奨シンボルマーク  
「ガチャピン」



国連「交通安全の  
ための行動の10年」



# 秋の全国交通安全運動鳥取県実施要綱

## 目的

秋口は日没時間の急激な早まりとともに、例年、夕暮れ時や夜間に交通事故が多発する傾向にあることから、歩行者・自転車利用者に対する反射材用品の活用と、自動車の前照灯の早期点灯や夜間の道路状況に応じたハイビームの適切な活用を推進するとともに、子どもと高齢者等を交通事故から守るため「思いやり運転」の実践等、広く県民に交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけることにより交通事故防止の徹底を図る。

## 重点

- 1 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 2 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 4 飲酒運転の根絶

## 期間

平成30年9月21日(金)から30日(日)までの10日

## 交通安全日

9月26日(水) 交通マナーアップ強化日及び思いやり運転推進日  
9月30日(日) 交通事故死ゼロを目指す日

## スローガン

つくろうよ 事故なし 笑顔の鳥取県

# 1

## 子どもと高齢者の安全な通行の確保と 高齢運転者の交通事故防止

### 【運転者は】

- 70歳以上の運転者は、高齢者マークの表示に努め、運転者は高齢者マーク表示車等に対して、割り込みや幅寄せ、急な進路変更などせず思いやり運転をしましょう。
- 通学路や生活道路、横断歩道付近ではスピードを落とし、子どもと高齢者等に配慮した思いやり運転をしましょう。
- 一時停止や信号等の交通ルールを守り、安全運転に努めるとともに、体調が優れないときは運転を控えましょう。

### 【子ども・高齢者等は】

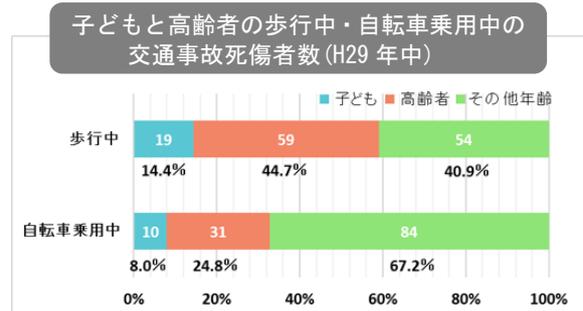
- 道路を横断するときは横断歩道を利用するとともに、斜め横断や車両の直前・直後の横断等は危険なので、絶対にやめましょう。
- 加齢による身体機能の変化を認識し、道路の横断等には十分に安全を確認しましょう。

### 【家庭・地域・学校等では】

- 家庭では、身近に起こった交通事故や道路の通行方法等について話し合い、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践に取り組むことを確認しましょう。
- 子どもや高齢者が出掛けるときは、交通ルールを守り、車に注意するよう声かけしましょう。
- 通学路や生活道路等での、子どもや高齢者等に対する交通安全の見守りや保護・誘導活動を推進しましょう。

### 【関係機関・職場等では】

- 70歳以上の運転者に対する高齢者マークの使用促進、高齢者マークを表示している自動車等への思いやり運転の励行等を周知徹底しましょう。
- 自動ブレーキやペダル踏み間違い時加速抑制装置等の搭載されたセーフティ・サポートカーS（通称：サポカーS）の普及啓発を図りましょう。
- 運転免許証の自主返納者に対する各種支援施策の広報啓発を推進しましょう。
- 高齢運転者に対して、加齢等に伴う身体機能の変化が運転等に及ぼす影響など指導しましょう。



## 2

### 夕暮れ時と夜間の 歩行中・自転車乗用中の交通事故防止

#### 【歩行者・自転車利用者は】

- 夕暮れから夜間は「車からみえにくい」ことを意識し、明るい色の服装を心掛け、反射材用品を着用しましょう。
- 自転車は、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認等の交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、安全に利用しましょう。
- 自転車利用時は乗車用ヘルメットを着用しましょう。

#### 【運転者は】

- 夕暮れ時は前照灯を早期点灯し、夜間の対向車や先行車がないときはハイビームを適切に活用しましょう。
- 夕暮れや夜間は速度を落とした安全運転に努めるとともに、運転中のスマートフォン等の操作は絶対にやめましょう。

#### 【家庭・地域・学校等では】

- 通勤・通学時間帯における街頭指導を通じて、二人乗り、並進、飲酒運転の禁止の徹底と、傘差し、スマートフォン・イヤホン使用等の危険性について周知徹底を図りましょう。
- 「自転車安全利用五則」を周知し、夜間の前照灯の点灯や交差点での信号遵守と一時停止等、自転車の安全な利用について指導しましょう。

#### 【関係機関・団体では】

- 「自転車安全利用五則」を活用した自転車の通行ルール、前照灯の点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認等の交通ルール・マナーの周知を図りましょう。
- 自転車の点検整備の励行、自転車利用時の乗車用ヘルメットの着用と損害賠償責任保険等への加入促進を図りましょう。

#### 自転車安全利用五則

- 1 自転車は車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
  - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
  - 夜間はライトを点灯
  - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 子どもはヘルメットを着用



## 3

### 全ての座席のシートベルトと チャイルドシートの正しい着用の徹底

#### 【運転者・同乗者は】

- 自ら正しくシートベルトを着用するとともに、全ての同乗者にも正しく着用させましょう。
- 子どもを同乗させるときは、体格に合ったチャイルドシートやジュニアシートを正しく着用する習慣を付けましょう。
- 車に同乗するときは、後部座席を含む全ての座席でシートベルトを正しく着用しましょう。

#### 【家庭・地域・学校等では】

- 回覧板等を活用し、シートベルトとチャイルドシートの必要性和着用効果について啓発に努めましょう。
- 自動車を出掛ける家族に、全ての座席のシートベルトとチャイルドシートを着用するよう声掛けしましょう。
- 幼児・児童・生徒に対し、チャイルドシートとシートベルトの必要性和着用効果を理解させ、車に同乗するときは必ず着用するよう指導しましょう。



## 【関係機関・団体では】

- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用の必要性と効果について、広報啓発活動を推進しましょう。
- シートベルトの高さや緩みの調整、チャイルドシート本体の確実な取付け方法及びハーネス（肩ベルト）の締付け方法等、正しい使用方法を周知徹底しましょう。
- 高速乗合バス、貸切バス等の事業者は、乗客に対する座席のシートベルト着用を徹底しましょう。

# 4 飲酒運転の根絶

## 【運転者・その周りの人は】

- 飲酒運転の危険性・悪質性を認識し、飲酒運転は絶対にやめましょう。
- 飲酒を伴う会合等には車は使用せず、公共交通機関等を利用しましょう。やむを得ず車を使用する場合には、自動車運転代行サービスの利用やハンドルキーパー運動を実践しましょう。
- 飲酒した翌日にもアルコールの影響があることを認識し、飲酒量・飲酒時間に配慮しましょう。

## 【家庭・地域では】

- 家庭や地域で、飲酒運転の危険性・悪質性・責任の重大性等について話し合い、飲酒運転は絶対にしないことを徹底しましょう。
- 飲酒を伴う会合等には車で参加しないようお互いに声を掛け合い、飲酒運転をしない・させない環境づくりに努めましょう。
- 車両を運転する人には、絶対に酒類を提供しないようにしましょう。



## 【酒類提供業者は】

- 運転者への酒類提供禁止とハンドルキーパー運動への参加を呼び掛けましょう。
- 店内に飲酒運転根絶啓発用のポスター・チラシを掲示し、客に対して注意を促しましょう。

## 【関係機関・団体・職場等では】

- 各種広報媒体を活用し、飲酒運転の危険性・悪質性や飲酒運転事故の悲惨さなどを広報啓発し、飲酒運転を絶対に許さない環境づくりを促進しましょう。
- 安全運転管理者等が中心となり、飲酒運転の危険性や法令を守ることにについて指導し、飲酒運転や飲酒運転を助長することがない職場環境を作りましょう。
- 自動車運送事業所では、点呼時のアルコール検知器の活用等、飲酒運転根絶に向けた取組を推進しましょう。

▼セーフティ・サポートカーS（サポカーS）には自動ブレーキの機能に応じて区分があります。

サポカーSの区分	機能
ワイド	自動ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1、車線逸脱警報※2、先進ライト※3
ベーシック+	自動ブレーキ（対車両）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1
ベーシック	低速自動ブレーキ（対車両）※4、ペダル踏み間違い時加速抑制装置※1

※1 マニュアル車は除く。※2 車線維持支援装置でも可。  
※3 自動切替型前照灯、自動防眩型前照灯又は配光可変型前照灯をいう。  
※4 作動速度域が時速 30 km以下のもの。

## 踏切での交通事故を防止しよう！！

踏切事故は、年々減少傾向にはあるものの、踏切種別では遮断機及び警報機のある踏切で多く発生し、そのうち、無理な横断が原因となるものが約8割を占めています。  
踏切での交通ルールと通行マナーを守り、踏切事故を防止しましょう。



踏切を利用する際は、次の3点を守りましょう。

- ・警報機が鳴り始めたら渡らない
- ・交通ルールを守る
- ・危険を感じたら迷わず非常ボタンを押す

※参考資料 JR 西日本 HP